

令和元年度の取組み

第1回協議会(7月2日開催)

- 幹事会報告
- 【公共交通編】ローズバス改正報告及び地域バスの取組みについて
- 【総合交通戦略編】国土交通大臣認定について
- 【バリアフリー基本構想編】策定について

第2回協議会(8月21日開催)

- 【公共交通編】・事業実施状況の報告
・評価指標の報告
- 【公共交通編】について
 - ・地域バスについての取組み(試験運行について)
- 【バリアフリー基本構想】策定について
 - ・バリアフリー分科会について



本日の
協議会

第1回分科会(10月頃開催予定)

- 【基本計画編】について
 - ・本市のバリアフリー状況について
- 【バリアフリー基本構想編】
 - ・バリアフリーの考え方と目標
 - ・重点整備地区について

分
科
会

第2回分科会(JR阪和線東岸和田駅周辺地区まちあるき点検) (1~2月頃開催予定)

- 重点地区である「JR阪和線東岸和田駅周辺地区」の現地点検を行い、バリアフリー化の現状を把握するとともに、課題を抽出する

【バリアフリー基本構想編】の策定は3地区を計画しており、R1~2年度に2地区、R3年度に1地区の策定予定(R2年度協議会において、分科会の報告を実施します)

令
和
元
年
度

協議会名： 岸和田市地域公共交通協議会

①施策名	②事業概要	H29(2017) 実績	H30(2018) 実施	R1(2019)実施予定	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)
施策①:路線バスの再編	日常の身近な交通手段として、市内及び市外の鉄道駅や主要施設等を結び、広域連携軸や地域連携軸の役割を担う路線バスを今後も維持し、また、利便性向上も図るために市内バス路線の再編を検討する →利便性向上を図るためのダイヤ改正の実施に向けた検討を行う →ローズバスとの乗継拠点を設置する	・一部ルートの見直し [天神山・一の宮循環バスの運行開始] 循環ルートの創設 (南海ウイングバス南部㈱)	・ダイヤの改正 ・パターンダイヤ化による利便性向上 ・天神山・一の宮循環バスの時間枠拡大 (平成30年4月13日実施 南海ウイングバス南部㈱)	・ダイヤの改正 ・東岸和田駅への乗入れによる利便性向上 (南海ウイングバス南部㈱)	更なる、利便性向上を目指す		
施策②:ローズバスのダイヤ改正・利便性向上	ローズバスは市街地を巡回し移動サービスを担う。既存路線バスとの役割分担を図り、利用者のニーズや需要に応じた運行の見直しを行う。また、各交通手段の役割の整理を行い、ローズバスの運賃体系について、適正化を図る →利便性向上や効率化を図るための路線の再編を実施する →各交通モードとの乗継拠点の整備 →適正な受益者負担を含め、公平性の観点や路線バスを考慮した運賃の見直し	・ダイヤ改正およびルートに見直しに向けた協議等 (岸和田市、南海ウイングバス南部㈱)	・ダイヤ改正およびルート見直し ・ルートの見直し(ルート分割) ・パターンダイヤ化 ・料金改定 (平成31年2月1日改正実施) (岸和田市、南海ウイングバス南部㈱)	・改正後の取組み ・利用者意見の調査実施(乗込み調査) →ニーズ、課題の抽出 ・広報紙・HP等を利用した更なる利用促進 (岸和田市、南海ウイングバス南部㈱)	改正後についても、利用者のニーズや社会情勢により更なる利便性の向上・持続する公共交通を目指す		
施策③:バス等の乗り継ぎ利便性等を高める交通系ICカードの普及促進	路線バスの利用促進を図るために、平成28年4月に導入した交通系ICカードを活用した割引制度の拡充など情報提供を行うとともに、交通系ICカードの普及促進を図る →割引制度の拡張・情報提供による普及促進	・H29年度作成のローズバスのルートマップ・時刻表に、ICカード普及促進のための案内を掲載し、 周知を図る (岸和田市、南海ウイングバス南部㈱)	・ローズバスの改正時に乗継割引制度の導入 (岸和田駅前バス停における ローズバス⇄ローズバス、ローズバス⇄路線バス) (岸和田市、南海ウイングバス南部㈱)	・乗り継ぎ利便性向上に向けた取組み (車内掲示・HPを利用し、乗り継ぎ券を利用した乗車方法等の紹介を行う) (岸和田市、南海ウイングバス南部㈱)	路線バスやローズバス等の乗継利便性向上を目指し、ICカードの普及率の向上に取組む		
施策④:交通結節点の整備	市内には、駅前広場が未整備(東岸和田駅は暫定供用)の鉄道駅があり、バス停が離れている箇所もある。広域連携軸や地域連携軸の役割を担う路線バスとの乗継拠点の整備を行い、利用者の視点に立った鉄道・路線バス・タクシーの乗り継ぎの利便性向上を図る。 →各交通モードの乗継拠点の整備 →駅前への路線バスの乗り入れを視野に検討	・JR東岸和田駅付近の鉄道高架の完成(下り:H27.2.8、上り:H29.10.22) (府・市、JR西日本) ・JR久米田駅:「久米田駅東西アクセス改善基本構想」(H29(2017)年6月策定) ・南海春木駅:「春木駅周辺まちづくり基本構想」(H29(2017)年8月策定)	・東岸和田駅東側交通広場の整備・駐輪場の整備 ・久米田駅:基本構想に基づく事業の実施 ・春木駅:基本構想に基づく事業の実施 (岸和田市)	・東岸和田駅東側交通広場の整備 ・久米田駅:基本構想に基づく事業の実施 ・春木駅:基本構想に基づく事業の実施 (岸和田市)			
施策⑤:公共交通情報の充実	現在、路線バスやローズバス毎にバス路線図が作成されており、市全域のバスネットワークが分かりづらくなっている。また、乗継方法など情報提供が不足しており、公共交通としての利便性向上を図る必要がある。市内の公共交通に関する利用方法や乗継等の情報提供を実施する。 →乗車案内や乗り換え案内を利用者の視点に立ったわかりやすい案内マップの作成	・民間事業者と協力(広告パートナーシップ制度)し、見やすい時刻表(ルート)マップの作成 →(ローズバス時刻表) (岸和田市)	・ローズバスの改正にあわせた時刻表マップの作成 (広告パートナーシップ制度の活用) ・ローズバスの改正の周知活動 (市広報紙、HPへの掲載) (テレビ岸和田会報雑誌「Vision」への掲載) (岸和田市)	・広告パートナーシップ制度を活用した時刻表マップの作成 ・市広報紙を活用した公共交通の利用促進 ・HPを利用した利便性向上策への取組み (岸和田市)	路線バスやローズバス等、市内のバスについてのわかりやすい総合的なバスマップの作成を目指す		
施策⑥:JR阪和線東岸和田駅付近高架化事業の推進	市街地において、多くの道路と平面交差している鉄道は、踏切による交通渋滞や踏切事故を起こす原因となっている。また、鉄道が地域を分断している。安全で快適な市街地を形成し、地域交流を促進するため、JR東岸和田駅付近での高架化に向けた事業を推進する。 →鉄道の高架化による踏切除却及び駅舎・駅前の歩行空間のバリアフリー化対策の実施 →立体交差化による幹線道路の改良や街路事業による交通の円滑化と周辺まちづくりの促進	・JR東岸和田駅付近の鉄道高架化の完成(H29(2017年10月)) (大阪府、岸和田市、JR西日本)	・阪和線附属街路5号線(歩行者専用道路)の整備 ・阪和線附属街路2号線の整備 ・東岸和田駅東停車場線 ・東岸和田駅東側交通広場の整備 (岸和田市、大阪府)	・阪和線附属街路4号線の整備 ・阪和線附属街路2号線の整備 ・東岸和田駅東停車場線 ・東岸和田駅東側交通広場の整備等 (岸和田市、大阪府)			
施策⑦:鉄道路線間の連携	来訪者の乗継間移動時の交通手段の拡充を図るために、南海岸和田駅⇄JR東岸和田駅間を結ぶ路線バスを活用し、鉄道駅間の連携を強化する。 ・南海岸和田駅とJR東岸和田駅間を運行する路線バスのダイヤを整理し、鉄道間の利便性向上を図る	・ダイヤ整理に向けた検討作業 (南海ウイングバス南部㈱)	・岸和田駅⇄東岸和田駅のダイヤ整理による15分間隔の運行→ (平成30年4月13日実施) (南海ウイングバス南部㈱)	・JR東岸和田駅への乗入れによる利便性向上策 (南海ウイングバス南部㈱)	更なる利便性向上を目指す		
施策⑧:都市計画道路泉州山手線等の道路整備の推進	泉州地域(岸和田市、貝塚市、熊取町、泉佐野市)の丘陵部における広域幹線であるとともに、地域の連携と活性化を支える重要な路線として位置付けられている、都市計画道路泉州山手線等の整備を推進する。 ・都市計画道路泉州山手線の道路整備の推進 ・泉北高速鉄道と泉中央駅からの延伸の検討		・施策実現に向けた取組の推進 (大阪府、岸和田市)	・都市計画道路泉州山手線の道路整備の推進 →都市計画道路泉州山手線の早期事業着手に向けた取組み ・泉北高速鉄道と泉中央駅からの延伸の検討 泉北高速鉄道延伸に向けた公共交通の検討 →需要に応じた段階的な交通モード、取組みを進める方策 など	都市計画道路泉州山手線の早期実現に向けた取		
施策⑨:高速バスの利便性向上	交流人口の拡大に向けたまちづくりを図るために、他都市へアクセス性の向上を図る高速バスネットワークを構築する。 ・高速バスの拡張に向けた検討を行う	・H29年2月 SPA LINE(高速乗合バス)の運行開始 ・北陸方面(岸和田駅発 1便/日、北陸発 1便/日) ・四国方面(岸和田駅発 1便/日、四国発 1便/日) (岸和田観光バス㈱)	・利用者増につながる(目的地周辺)観光施設との連携強化やバス停環境の向上に取組む (岸和田観光バス㈱)	・利用者増につながる(目的地周辺)観光施設との連携強化やバス停環境の向上に取組む (岸和田観光バス㈱)			
施策⑩:来訪者にとっても利用しやすい公共交通情報の充実	観光やビジネスなどの来訪者をはじめ、岸和田市民の回遊性の向上を図るために、市内の公共交通の案内をはじめ、目的地までのルート検索や岸和田市内の観光施設やイベント情報等の情報提供を行う。 ・スマートフォンアプリによる情報提供を行う	・スマートフォンアプリ(「祭都(さいと)きしわだnavi」)による情報提供 (ローズバスの乗継案内) →ダウンロード数 17.6千件 (H29年度末) (岸和田市) ・バスロケーションシステム(スマホアプリ)を路線バスへ導入 →路線バスの現在地リアルタイム表示 (南海ウイングバス南部㈱)	・スマートフォンアプリ(「祭都きしわだnavi」) →ダウンロード数 19.1千件(H30年度末) (岸和田市) ・改正にあわせローズバスへもバスロケーションシステムを導入 (岸和田市、南海ウイングバス南部㈱)				
施策⑪:地域住民主体による持続可能な運行を支える協働の取組み	鉄道駅やバス停から距離がある地域において、地域住民が主体となって運行する新たな交通サービスの導入を図る。 →地域主体の地域に必要な交通のあり方を検討する体制を構築する →地域主体の新たな交通手段導入への取組みをサポートする仕組みの検討を行う →3者(地域・事業者・行政)の協力体制を構築し、地域主体の公共交通の導入を図る	・地域バスの導入に向けた制度設計等準備作業 (市民、岸和田市、事業者)	・地域バスの導入に向けた制度の構築 ・地域の交通に対する意識醸造のための取組を進める ・地域公共交通についての意見交換会実施(塔原・相川地区) (市民、岸和田市、交通事業者)	・地域バスの導入に向けた制度の構築 ・地域の交通に対する意識醸造のための取組を進める ・地域バスの試験運行実施 (相川・塔原地区) (地域、岸和田市・タクシー事業者)	・地域への周知活動を実施する ・地域バスの導入を目指した試験運行の実施に向けた取組みを進める		

■ 評価指標項目(公共交通編 H29年11月策定)

基本理念			評価指標	データ入手方法	現況値(H27年)	H28年	H29年	H30	目標値	データ更新
元氣に生活・活動し、安全・快適に移動ができる交通インフラの形成	直接的な指標	(1)公共交通の利用率	人口に対する市内全域の路線バス(ローズバスを含む)利用者数が占める割合	ローズバス・路線バス利用実績&人口ビジョン(H32:人口ビジョン、実績は市統計情報より)	1.98% (H27) (3,861/194911*100) 人口は市HP(総務管財統計情報)	1.91% (3,691/193,637*100)	1.88% (3,612/192,637*100)	1.73% (3,298/191,134*100)	2.10% (4,100/194,968*100) 人口は人口ビジョンH32	毎年
			人口に対する市内鉄道駅乗車人員が占める割合	鉄道駅乗車人数:市統計情報より 人口:市統計情報より	23.9% (H27) (46,596/194,911*100)	24.1% (46,665/193,637)	24.2% (46,542/192,637*100)	データ準備中 (R1.9月頃予定)	26.0% (50,691/194,968*100) 人口は人口ビジョンH32	毎年
		(2)利便性の向上	交通系ICカードによる利用者割合 (定期利用者を除く)	バス事業者より	—	41.8% (H28年11月)	56.0% ☆ (H29年11月実績)	60.9% ☆ (H30年11月実績)	50.0% (南海ウイングバス南部株)	毎年
		(3)地域での活動実績	地域住民による地域の公共交通を考える検討会の開催実績	—	0件	—	—	1件	6件	毎年
			地域主体による協議会の設立実績	—	0件	—	—	0件	2件	毎年
	間接的な指標	(4)市内をスムーズに移動できている市民の割合		目指そう値P25 (実績値については、市民意識調査(毎年結果公表資料より))	33.0% (H27 総合戦略P.38) (H27年度 市民意識調査結果報告書 P25)	30.6% (H28年度 市民意識調査結果報告書 P25)	31.5% (H29年度 市民意識調査結果報告書 P25)	34.1% (H30年度 市民意識調査結果報告書 P25)	37.0% (総合戦略 P42)	毎年
		(5)鉄道駅周辺の市街地に活気があると感じている市民の割合		目指そう値P25 (実績値については、市民意識調査(毎年結果公表資料より))	14.0% (H27 総合戦略P.38) (H27年度 市民意識調査結果報告書 P25)	16.3% (H28年度 市民意識調査結果報告書 P25)	14.6% (H29年度 市民意識調査結果報告書 P25)	17.2% (H30年度 市民意識調査結果報告書 P25)	18.0% (総合戦略 P.42)	毎年
		(6)岸和田が多く観光客でにぎわい、観光の振興が十分な状態であると感じている市民の割合		目指そう値P25 (実績値については、市民意識調査(毎年結果公表資料より))	15.6% (総合戦略 P.51) (H27年度 市民意識調査結果報告書 P25)	15.0% (H28年度 市民意識調査結果報告書 P25)	13.9% (H29年度 市民意識調査結果報告書 P25)	13.7% (H30年度 市民意識調査結果報告書 P25)	19% (総合戦略 P.55)	毎年
		(7)1年間の主要観光施設及びイベント等への観光入込客数		観光課より	287万人【97万人】 (H26年度 観光入込客数)	309万人 ☆【95万人】 (H27年度 観光入込客数)	299万人 ☆【88万人】 (H28年度 観光入込客数)	295万人 ☆【76万人】 (H29年度 観光入込客数)	287万人 (第2次岸和田市観光振興計画 H30年)※	毎年
	まちづくりの指標	(8)子どもを生み育てたいと感じている市民の割合		総合戦略目標 (実績値については、市民意識調査(企画データより))	25.8% (総合戦略P.60) (H27年度市民意識調査 企画課データより))	26.9% (H28年度市民意識調査企画課データより)	28.2% (H29年度市民意識調査企画課データより)	24.3% (H30年度市民意識調査企画課データより)	30.0% (総合戦略P.66)	毎年
		(9)生きがいを感じている65歳以上の市民の割合		総合戦略目標 (実績値については、市民意識調査(毎年結果公表資料より))	52.6% (総合戦略P38) (H27年度 市民意識調査結果報告書 P23)	51.5% (H28年度 市民意識調査結果報告書 P23)	47.3% (H29年度 市民意識調査結果報告書 P23)	49.3% (H30年度 市民意識調査結果報告書 P23)	56.0% (総合戦略P42)	毎年
		(10)高齢者が安心して生活できている市民の割合		目指そう値 (実績値については、市民意識調査(毎年結果公表資料より))	18.1% (総合戦略P.38) (H27年度 市民意識調査結果報告書 P26)	20.7% (H28年度 市民意識調査結果報告書 P26)	21.1% (H29年度 市民意識調査結果報告書 P26)	22.2% ☆ (H30年度 市民意識調査結果報告書 P26)	22.0% (総合戦略P.42)	毎年
		(11)岸和田市の定住人口		住民基本台帳(市統計情報:人口及び世帯数の推移(各年10月1日))	194,911人 (H27.10)	193,637人 (H28.10)	192,637人 (H29.10)	191,134人 (H30.10)	194,968人 (人口ビジョンP51 ②出生率向上+転入出均衡 2020年)	毎年

☆： 目標値達成 ※R元年度に見直し予定

主要施設(観光客来訪が中心)の観光入込客数目標値 (延べ人数)

			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年合計
年間の観光入込客数			968,631	946,577	882,390	764,145	652,075	4,213,818
	主要観光施設の観光入込客数		464,782	459,691	458,080	421,817	340,848	2,145,218
		岸和田城(郷土資料館)	43,397	41,345	38,165	41,565	38,500	202,972
		たんじり会館	36,433	36,394	31,712	34,415	32,831	171,785
		五風荘	108,412	109,258	104,294	99,122	74,117	374,757
		森やかの郷	194,363	190,212	179,895	156,854	127,617	848,941
		観光案内所	4,330	4,895	4,904	4,527	4,618	23,274
		観光交流センター	58,780	59,786	84,335	71,484	49,882	872,215
		まちづくりの館	19,067	17,801	14,775	13,850	13,283	78,776
	主要イベントの入込客数		495,000	480,000	419,000	337,000	308,000	2,039,000
		たんじり祭	465,000	450,000	389,000	307,000	278,000	2,117,776
		お城まつり	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	150,000
	その他		8,849	6,886	5,310	5,328	3,227	29,600
		和撫子(H23.9.1～)	4,640	3,593	2,768	3,067	3,227	179,600
		洋裁コシノ(H23.9.20～)	4,209	3,293	2,542	2,261		12,305

岸和田市地域公共交通協議会バリアフリー基本構想分科会員名簿

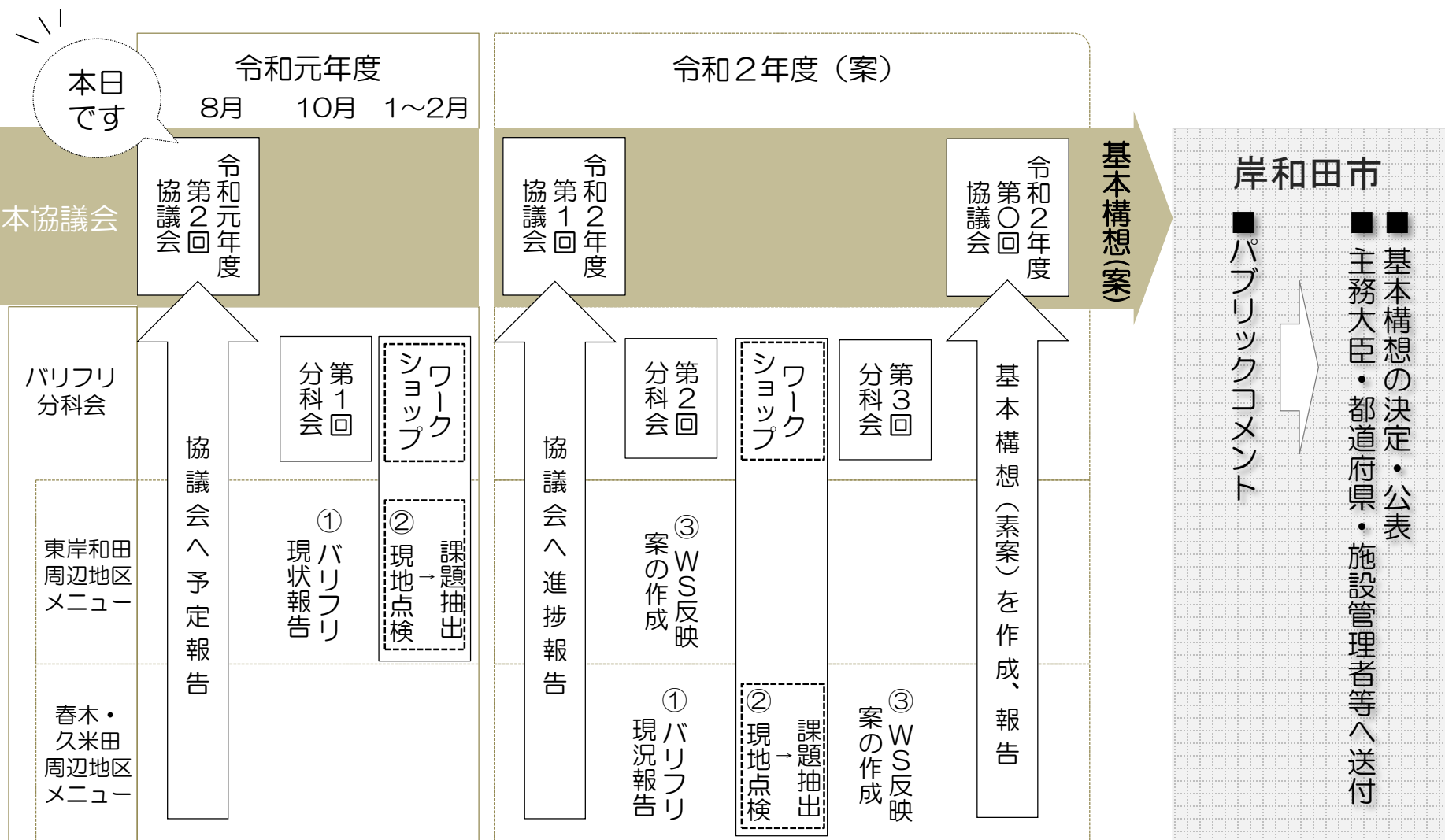
令和元年9月27日現在

所属・職名	氏名	備考
大阪市立大学 名誉教授	日野 泰雄	会長
岸和田市福祉部福祉政策課長	西村 寿員	
岸和田市福祉部障害者支援課長	長谷川 真紀	
岸和田市魅力創造部観光課長	西河 鉄二	
岸和田市まちづくり推進部都市計画課長	山田 俊晴	
岸和田市まちづくり推進部建設指導課長	日下 敬三	
岸和田市まちづくり推進部住宅政策課長	松下 英俊	
南海電気鉄道株式会社 鉄道営業本部 総括部 課長	中野 崇	
西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部 大阪支社 総務企画課 課長	梅澤 浩二	
南海ウイングバス南部株式会社 常務取締役 支配人	芥子 孝満	
国土交通省 大阪国道事務所 南大阪維持出張所 所長	原 利恵子	
大阪府岸和田土木事務所 管理課 課長	勝藤 登	
岸和田市建設部建設管理課長	岸 勝志	
岸和田市建設部高架事業・道路整備課長	奥野 光好	
岸和田市建設部水とみどり課長	原 博伸	
大阪府岸和田警察署 交通課 課長	石田 弘治	
岸和田市旭校区長	古石 寛治	
岸和田市常盤校区長	西村 和幸	
岸和田市老人クラブ連合会	安野 啓藏	
岸和田市身体障害者福祉会 副会長	羽室 純一	
岸和田市視覚障害者協会 副会長	石崎 洋志治	
岸和田市聴覚障害者福祉会 会長	葛迫 直人	
国立和歌山工業高等専門学校 環境都市工学科 准教授	伊勢 昇	
近畿運輸局 大阪運輸支局 首席運輸企画専門官（総務企画）	後藤 孝行	
国土交通省近畿地方整備局 建政部 都市整備課 課長	鈴木 豪	
大阪府 都市整備部 交通道路室 道路整備課 参事	梶川 正純	
オブザーバー		
大阪府住宅まちづくり部建築指導室 建築企画課福祉のまちづくりグループ 主査	西山 憲一	

（敬称略 順不同）

■ 本協議会 とバリアフリー基本構想分科会の進行イメージ

※令和2年度まで記載



○住民ご利用説明会について(町会館、葛城上地区公民館)

・試験運行実施前（実施中）に、「地域バス利用に関する説明会」を実施する

[日時] 試験運行実施前(9月～)

[場所] 町会からの要望場所(町会館等)

[内容] ・地域バスについて・ご利用方法と事前登録説明会の実施
・使っていただくための利用促進 等

⇒

・地域へのきめ細かい対応（公民館等で地域バス登録会などを実施)を実施
(まずは乗っていただき体験してもらう)

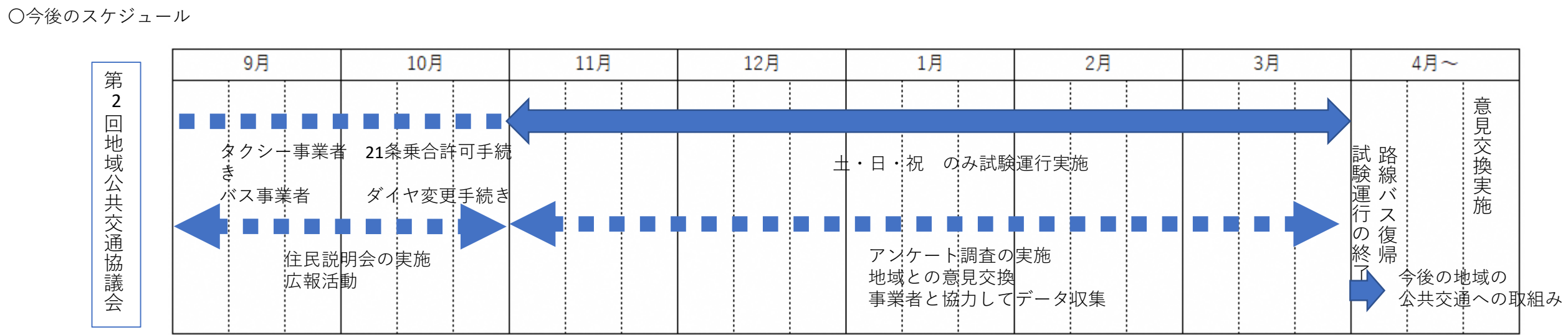
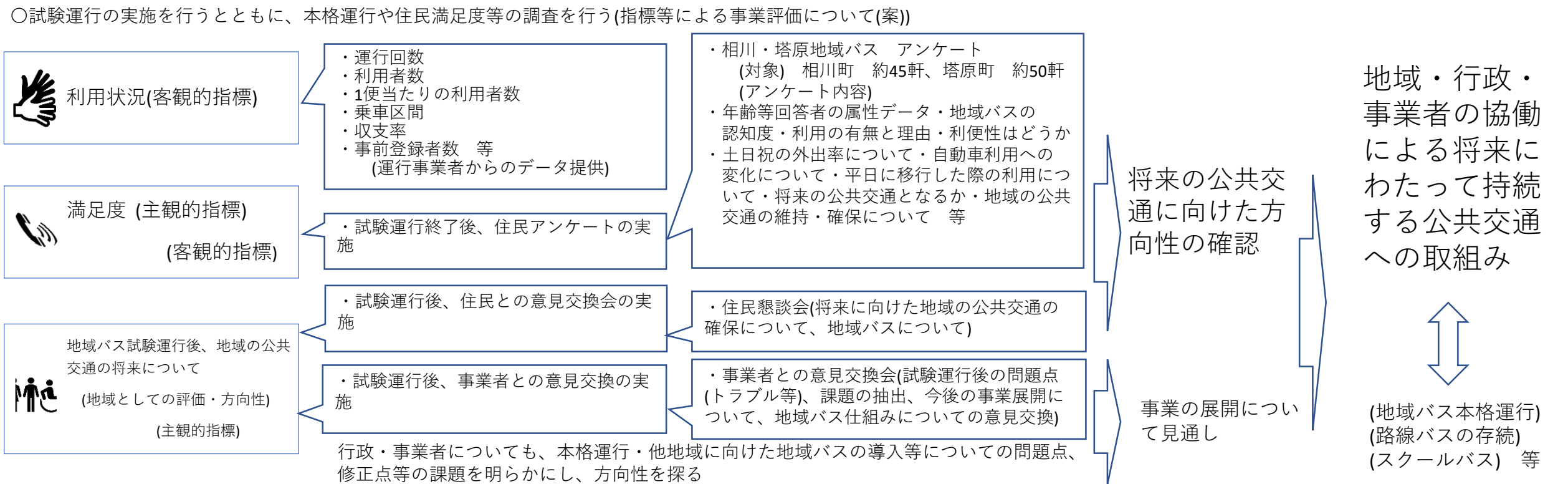
○広報活動

[内 容] 事前周知を含めたご利用案内を実施する

[配布場所] ・HP(ホームページ)・校区内町会回覧(東葛城校区) ・南海岸和田駅掲示 ・JR東岸和田駅掲示 ・市役所

⇒

新たな公共交通地域バスの試行運転を周知



相川・塔原地区 地域バス試験運行実施要綱

〔事業目的〕

岸和田市交通まちづくりアクションプランの「地域公共交通網の将来像」(P73)より、将来検討必要区間となっている路線のうち、運行補助路線(利用人数が少ない地域)について、地域・事業者・行政が一体とり、将来にわたって持続可能な公共交通(地域バス)の導入を図る。

なお、通学の手段の確保については別途考慮する。

〔対象路線〕

路線バス葛城線のうち 船渡バス停～塔原バス停間(5.6km、バス停留所6箇所(船渡含む))

〔対象町会〕

塔原町、相川町

〔期間〕

令和元年11月1日から令和2年3月31日

〔運行〕

タクシー事業者

〔運行方法〕

運行形式：定時定路線のデマンド(予約)型タクシー

運行日：土・日・祝・12月30日から1月3日 (平日は従来どおり路線バスが運行)

- ・既存の路線バスからの転換※であり、意見交換会において、全ての便を変更するのではなく、「まずは土・日・祝など日を限定して実施し、実際に路線バスに代わる公共交通として利用していけるか検証したほうが良い」という方向性を受け、試験運行については、「土・日・祝」にて試験運行を行う。
- ・路線バス運行区域であり、まずは市主導で進める(地元意見)。
- ・運行ダイヤについては、別紙(案)。
- ・料金は、1乗車300円。

〔地元合意〕

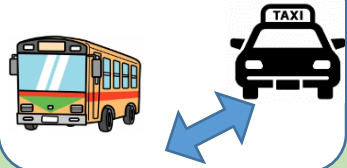
令和元年6月29日に開催した、意見交換会で合意を得た。

※相川町、塔原町等町会長他役員計22人が参加。

〔取組み〕

- ・地域住民・・・地域を取り巻く交通状況の認識、試験運行(地域バス)の実際のご利用、ご意見
- ・南海ウイングバス南部(株)・・・ダイヤ改正等、タクシー事業者との協力(認可申請等)
- ・タクシー岸和田会・・・運行計画、南海ウイングバス南部(株)との協力(認可申請等)、
市の地元説明会協力
- ・岸和田市・・・住民・事業者調整、運輸支局調整、地域公共交通協議会、赤字欠損補助

相川塔原地区



地域バス(デマンドタクシー)試験運行

ご 利 用 案 内

※令和元年11月1日～令和2年3月31日

ご乗車の2時間前までにお電話下さい。※1～3便は前日の18：00まで

☎ (072) 437-2371 ※専用ダイヤル

岸和田交通株式会社 受付時間：7：00～18：00

土曜・日曜・祝日・12月30日から1月3日に運行（地域バス運行日は路線バスは運休）

※事前に予約があった便のみ運行します。予約が無ければ運行しません。

1 乗車 300円

下り時刻表（塔原方面）（案）

	停留所名		2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便	10便	11便	12便	13便
路線バス	岸和田駅前		7:30	8:00	9:00	毎時 00分							17:00	18:00
	船渡		7:50	8:20	9:26	毎時 26分							17:20	18:20
路線バスから地域バスに乗換可能														
地域バス	船渡		7:55	8:30	9:30	10:30	11:30	12:30	13:30	14:30	15:30	16:30	17:30	18:30
	河合		7:56	8:31	9:31	10:31	11:31	12:31	13:31	14:31	15:31	16:31	17:31	18:31
	相川口		8:00	8:35	9:35	10:35	11:35	12:35	13:35	14:35	15:35	16:35	17:35	18:35
	相川		8:02	8:37	9:37	10:37	11:37	12:37	13:37	14:37	15:37	16:37	17:37	18:37
	塔原口		8:03	8:38	9:38	10:38	11:38	12:38	13:38	14:38	15:38	16:38	17:38	18:38
	塔原		8:04	8:39	9:39	10:39	11:39	12:39	13:39	14:39	15:39	16:39	17:39	18:39

上り時刻表（船渡方面）（案）

	停留所名	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便	10便	11便	12便	13便
地域バス	塔原	7:00	8:00	8:55	9:55	10:55	11:55	12:55	13:55	14:55	15:55	16:55	17:55	18:55
	塔原口	7:01	8:01	8:56	9:56	10:56	11:56	12:56	13:56	14:56	15:56	16:56	17:56	18:56
	相川	7:02	8:02	8:57	9:57	10:57	11:57	12:57	13:57	14:57	15:57	16:57	17:57	18:57
	相川口	7:04	8:04	8:59	9:59	10:59	11:59	12:59	13:59	14:59	15:59	16:59	17:59	18:59
	河合	7:07	8:07	9:02	10:02	11:02	12:02	13:02	14:02	15:02	16:02	17:02	18:02	19:02
	船渡	7:08	8:08	9:03	10:03	11:03	12:03	13:03	14:03	15:03	16:03	17:03	18:03	19:03
地域バスから路線バスに乗換可能														
路線バス	船渡	7:14	8:14	9:10	毎時 10分							17:14	18:09	19:09
	岸和田駅前	7:40	8:46	9:42	毎時 42分又50分							17:47	18:36	19:36

停留所は既存のバス停留所と同じ

※上記の時刻までに停留所にお越し下さい。バスの延着時は一定の範囲内で時間調整します。

(案)

ご利用方法 ※「デマンドタクシー」とは、決められた時間に決められた停留所を巡回するのではなく、事前に予約があった停留所のみを運行し、予約が無ければ運行しない方式です。

事前登録 ご利用が多い方は、名前、電話番号等を登録することにより、簡単に予約していただけます。

2 時間前までに電話で
予約します。

☎ (072) - 437 - 2371

受付時間/
7:00～18:00



予約受付

※帰りの予約等、複数の予約をすることも可能です。
※予約は○日前から受け付けています。

予約受付

オペレータが出ましたら。
「相川塔原地域バスの予約をします。」とお伝え下さい。

※登録をされている方は、
「登録番号○番の（名前）
です。」と続けて下さい。



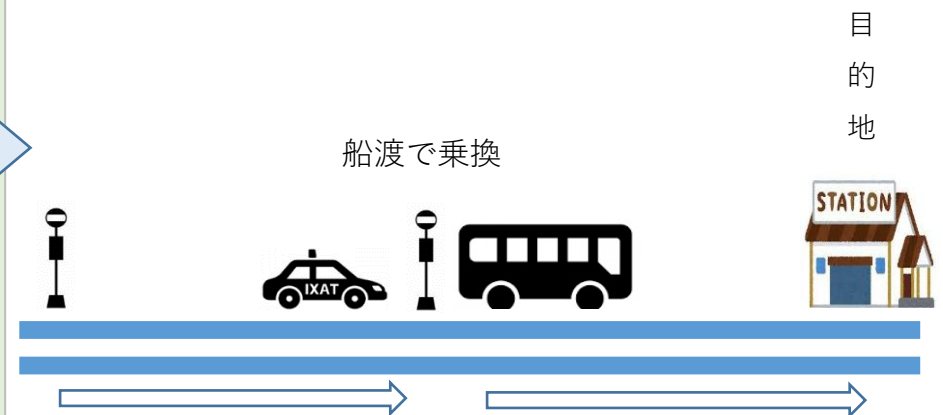
お尋ねすること

- ①お名前 ②人数 ③電話番号
- ④利用日 ⑤乗りたい便（例：上り○便）
- ⑥乗車・降車停留所

※事前登録することにより②③⑥を省略することができます。

配車

予約した停留所に決められた時刻までにお越し下さい。
船渡停留所で路線バス（岸和田駅前行）に接続しています。

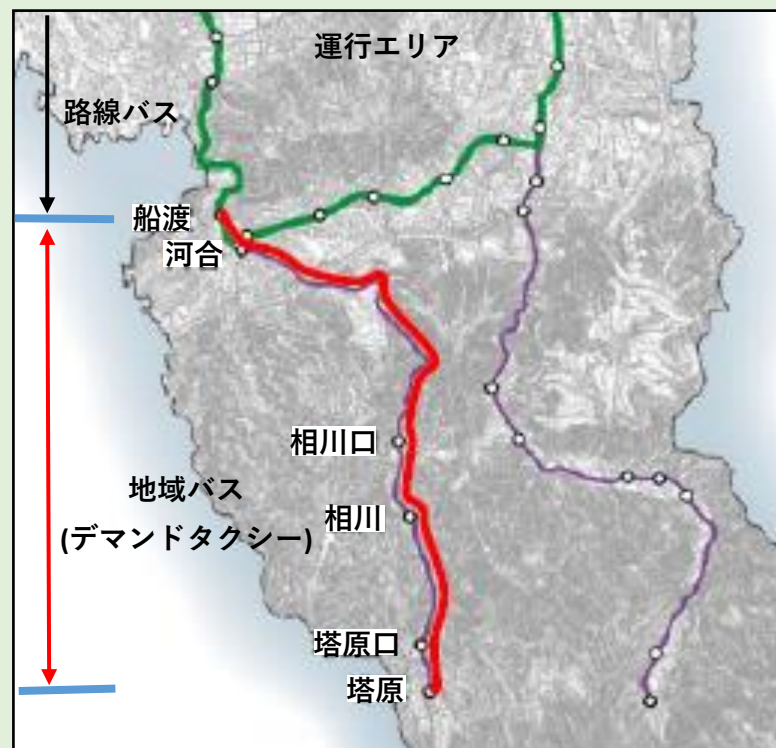


運賃

- 大人300円、子ども150円、現金でお支払い下さい。
- 中学生以上は大人運賃、小学生は子ども運賃がかかります。
- 同伴する幼児(1歳以上6歳未満)は、1人目を無料とし、2人目から子ども運賃がかかります。
- 幼児が1人だけで乗車する場合は、子ども運賃がかかります。
- 身体障害者手帳、療育手帳を提示の方は半額でご利用いただけます。
- 有効なバス定期券をお持ちの方は無料でご利用いただけます。

注意事項

- 複数の人との乗り合い利用となります。
- 停留所以外での乗り降りはできません。
- 道路事情により遅れる場合があります、その場合、接続する路線バスにご乗車いただけないことがあります。
- 予約変更（キャンセル等）は乗車時刻の2時間前までに岸和田交通株式会社受付へ連絡してください。
- 予約の定数を超えた場合は他の時間の便を案内します。



ここが便利！
☆1時間に一本の設定があります。
☆塔原発は6→13本
☆船渡発は5→12本